

上小の音楽朝会に5人の「オタスケマン」登場！



毎週木曜日は、全校児童の朝集会がある。第三木曜日の本日（九月二十日）は、音楽朝会だ。

そこに、六年生男子五名の「オタスケマン」が登場。皆で楽しく歌を歌うお手伝いをした。次回は、何が登場するのか今から楽しみだ。オタスケマンの君達、ありがとう。

次回を楽しみに期待し待っているよ。

風登原

第24号

校長:上間忠彦

学校教育目標)

- 自ら考え進んで学習する子
- 思いやりの心で行動する子
- 進んではたらき最後までやりぬく子
- 進んで体を鍛える子



文化庁主管の巡回演劇講演会が今年も本校で実施される。その事前のワークショップがこの程、四・五年で行われた。



演劇公演のWS



職員と児童が作業の後片付けをしてくれました。

PTA作業の後片付け



校内「童話・お話し大会」

県PTA連合会が主催するこの行事の出発点は、一九四九（昭二四）年当時、県教職員会会長で初代公選行政主席（倉知事）の故・屋良朝苗先生が設立したものである。当時、沖繩の子供達は、方言ばかり使って暮らしていたので、標準語があまり遣えなかった。その状況を憂えた屋良先生が、沖繩の子供達に語彙力や発表力をつけ、表現力を高めたい。そして、世界へ羽ばたいて欲しい。

教育に心を砕いた一人の教師の熱意が、今日までこの様な形となって受け継がれているのである。

学校と父母が、子供達の将来のためにタッグを組む大事な行事なのである。当時は「方言札」なども仕方なかった。沖縄県民の基本的な人権の為に、一刻も早く祖国復帰を願ったのだ。今では、「じまくとぅば」も大切に守り継ぐ動きが活発化している。

（文責上間）